

仙北市市制5周年記念 平成22年度 仙北市民会館自主事業

奄美の島唄

三味線で唄う伝統的な「島唄」とバンド編成によるモダンな「シマウタ」、生保内東風と奄美東風、新たな出会いから未来はうまれる。築地俊造と RIKKI、民謡日本一に輝いた奄美大島の唄者二人が日本一の民謡の宝庫、仙北市に初登場！



出演

築地俊造 (第2回日本民謡大賞大会優勝)

RIKKI (第13回日本民謡大賞優勝、FFX
テーマ曲「素敵だね」)

ゲスト：富岡沙樹 (秋田長持唄全国1位)

演奏 菅原弘明 (アレンジ,G) 中原信夫 (B) 大木彩乃 (Key) 佐藤貴子 (Dr,Perc from オムトン)



会場 仙北市民会館 平成23年1月16日(日)

開場 13:00 開演 13:30

仙北市市制5周年記念特別価格 前売り一般 1,000円、当日 1,200円
高校生以下は無料 (市内学校で申込書を配布、市外通学者は販売所にて申込)

12月5日 午前11時 発売開始

入場券の取扱所：ブックイン 105、ヤマザキデイリーストア角館店、田沢湖店 (仙岩峠手前)、
デイリーヤマザキ神代店、西木温泉クリオン、
各市庁舎地域センター窓口 (3地区) 仙北市民会館

前売券購入者特典：一般前売り券購入先着 100名様に限りボーナス CD プレゼント

問合せ先 仙北市民会館 (0187-43-3143) 主催 仙北市民会館 後援 仙北市・仙北市教育委員会

出演者たちご紹介

この度、本当に素晴らしい出演者の方々に秋田にお越しいただけることとなりました。

仙北市は、全国で最も民謡の盛んな土地柄ですが、奄美もあの島の中に実に沢山の唄と歴史が今も生き続けています。奄美では島唄の唄い手は「唄者（唄者）」と呼ばれています。その唄者の中でも、常にトップを走り続け、奄美の島唄を全国に、いや、世界中に発信している。そんなお二人をメインに、これまたすこぶるなバックメンバーがサポートし、最高の演奏を披露してくれます。

築地俊造

1934年10月鹿児島県大島郡笠利町生れ。1975年に地元の南海日日新聞社主催の島唄大会で優勝、1978年第2回アジア伝統芸能大会に出演、1979年11月にNNS（日本テレビネットワーク）主催第2回日本民謡大賞大会に鹿児島県代表として見事に優勝。日本民謡大賞並びに内閣総理大臣杯を受賞し、奄美大島の島唄を初めて全国的に位置づける。以後、1986年6月日本テレビ主催による浅草国際劇場にて築地俊造リサイタルを開く1981年4月フランス、レンス市にて第8回国際伝統芸能祭出演1987年7月アメリカ、スミソニアン博物館主催、アメリカンフォークライブ出演1988年11月鹿児島県文化奨励賞受賞1990年9月アメリカ、シアトル市主催ジャパノーク出演1997年1月フランス、カンヌ国際音楽祭出演その他、年2回の渋谷ジャンジャン劇場公演等のライブ活動を通して、奄美の島唄の普及に努める傍ら、最近では三味線、唄、太鼓の三つのパートを一人で同時に奏でるパフォーマンスを行い好評を得ている。



RIKKI

1975年奄美大島生まれ。4歳から大好きな島唄で舞台上に立ち始め、15歳で「第13回日本民謡大賞」のグランプリを史上最年少で獲得し、民謡日本一になる。93年にデビューアルバム「風の声」を発売。トラディショナルな島唄とポップスの両面を歌いこなす高い歌唱力はジャンルを越えて賞賛を浴び、活動も多岐に渡る。「長良川国際ジャズフェスティバル(94年)」「アジア太平洋フェスティバル(96年)」「カンヌ国際音楽祭(フランス・97年)」「日本芸術文化祭(ルーマニア・99年)」等。またRIKKIの歌声に魅了された音楽家も多い。久石譲氏は音楽プロデュースを手掛けた98年長野パラリンピックの開会式にRIKKIを起用。ロックバンド「THE BOOM」の宮沢和史氏とのデュエットシングル「からたち野道/朱鷺-トキ-」を発売。2001年春、宮崎駿監督のアニメーション映画「千と千尋の神隠し」のイメージアルバム(音楽:久石譲氏)に参加し、同年夏には「ファイナルファンタジーX」の主題歌「素敵だね」が15万枚の売上を記録。



菅原弘明 (Gt)

1960年角館生まれ。作編曲ギター。オフィスインテンツイオにて高橋幸宏、坂本龍一などの現場にシンセサイザーオペレーターとして参加後、アレンジャー、プロデューサーとして吉川晃司、デランジェなどのロックミュージシャン、鈴木祥子、柳原陽一郎(ex.たま)などのシンガーソングライターなどアクの強いミュージシャンたちと問題作を世に送り出してきた。ホッピー神山との「ザ・サボテン」、ソロ作品「アメマチ」、奄美大島民謡をブラジル音楽風にアレンジした「シマウタ tricks」などもリリースしている。最近では次世代のミュージシャン、音楽シーンをつくるため、さまざまなプロジェクトに参加している。小椋佳「black letter」アルバム-アレンジ、guitar。いきものがかり「happy smile again」(NHKスタジオパークからこんにちは テーマ曲)アレンジ、guitar。



大木彩乃 (Key)

東京都出身。幼少時代からクラシックを学び、音大時代からシンガーソングライターとして活動を始める。1999年、ビクターエンタテインメントより「眠る魚」でデビュー。全国各地にて幅広く活動し、特に札幌の時計台、滋賀の三井寺能舞台をはじめ、全国各地でのライブでは、観る者に大木独特の世界観を印象付けてきた。2002年結婚を機にフリーとなり、2004年自身の活動としてポロリレコードを立ち上げ、意図的に独創的な作風をより深め、水を得た魚のような自由で深い活動を続けている。研ぎすまされたピアノと透明感のある歌声による弾き語りスタイルに定評があり、近年は映画やCM曲の作家としても活動を広げている。養生堂企業広告としてオンエアされた「あなたのキスは」は記憶に新しい。2005年、秋田県の角館に移住。



中原信夫 (EB)

1957年2月1日東京生まれ(作・編曲・ベース)

「films」のメンバーとしてレコードデビュー。「films」解散後、「野宮真貴」のバックバンドとして活動。以後、これが「ポータブルロック」になる。同時期に「戸川純」のバンド「yapoos」に加わる。戸川・中原を残しメンバー一新。その傍らバンド「Fishermen Tit Tot」でもライブ等の活動をする。仙波清彦氏らが率いる「エイジアン・ファンタジーオーケストラ」に参加。「eEYO」メジャーデビューとともに、メンバーとしての活動をスタート。現在に至る。(ミュージシャンとしてだけでなく、作・編曲家としても多数のレコーディングに参加している。)



佐藤貴子 (Dr)

秋田県出身

アコースティックやポップスなどのドラムやパーカッションを中心に活動。最近ではエレクトロニカなどのデジタルサウンドに幅を広げている。また、幼少より秋田のお祭りで篠笛を吹いていたため、「アラゲホンジ」という秋田の民謡をベースにしたバンドにも参加している。アラゲホンジは2010年Fuji Rock出演

web <http://aragehonzi.com/> 自身のバンド omu-tone はマリンバ、ピアノ、ドラム、パーカッションの打楽器ユニット

web <http://www.geocities.jp/omutone/> 「Oodorudake」2010年10月25日!

